

歴史まちづくり計画に係る説明資料

**令和3年12月16日（木）
第17回前橋市景観審議会資料**

●歴史まちづくりの取組み

R 2 年度から都市計画課で取組み開始

R 4 年度中に「歴史的風致維持向上計画」(歴まち計画)策定、国の認定

●起点



前橋市歴史文化遺産活用委員会提言書

●よりどころ



前橋市アーバンデザイン

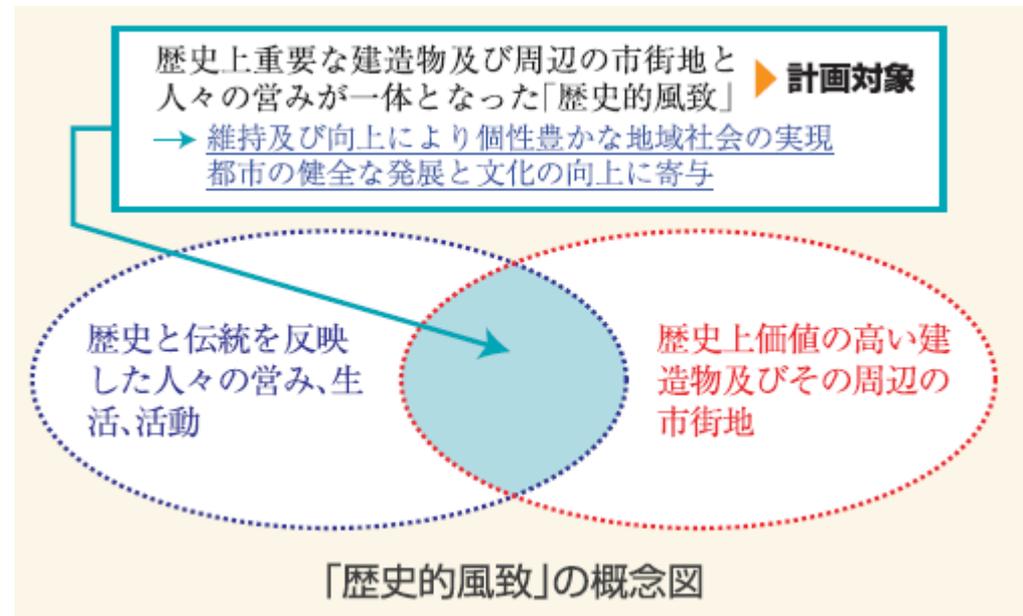
●歴史まちづくり法（歴まち法）

地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律の略称

計画策定による効果

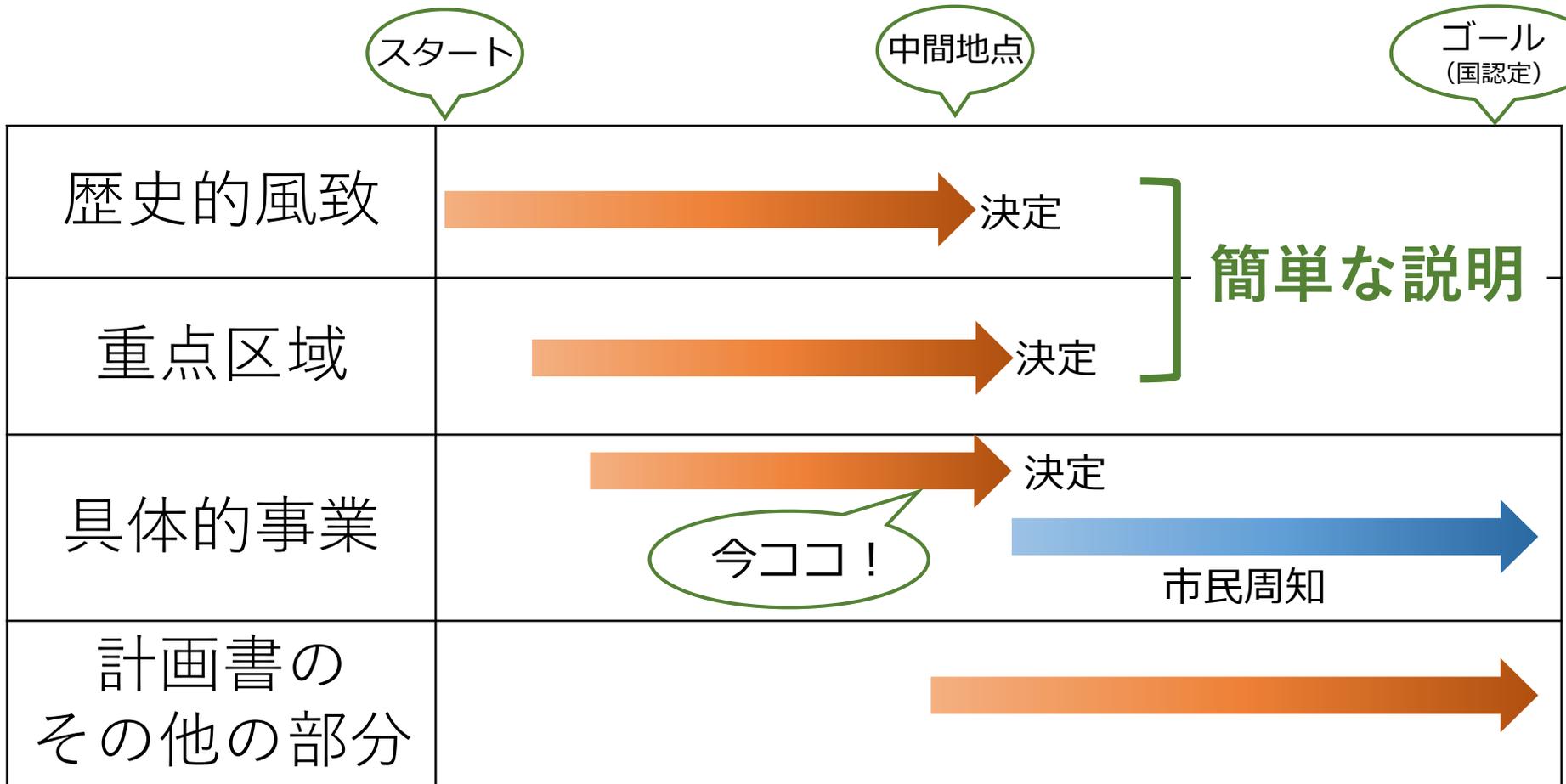
歴史的環境整備に対する国からの補助（対象拡大、^{かさ}嵩上げ措置）

●歴史的風致とは



●重点区域とは

- ・ 核となる国指定文化財と一体となった歴史的風致を形成する市街地環境
- ・ 計画期間中（概ね10年）のハード・ソフト両面の事業を位置付け



本日の説明

■ 「歴史的風致」 3つ

■ 「取組方針」と「重点区域」

■ 「事業」は何をするか

I 街なかの歴史的風致

① 街なかの伝統祭礼

- ・ 八幡宮 | 初市
- ・ 熊野神社 | 前橋まつり



② 前橋公園の花見

- ・ 前橋公園 | 花見
- ・ 原嶋屋 | 焼きまんじゅう

③ 広瀬川河畔

- ・ 比刀根橋 | 慰霊
- ・ 広瀬川 | 美観維持

II 総社の歴史的風致

① 総社神社の祭礼

- ・ 総社神社 | 獅子舞、成人会盆踊り



② 総社地区の歴史顕彰

- ・ 古墳群、光巖寺、天狗岩用水
| 歴史顕彰活動

③ 総社山王地区の養蚕集落

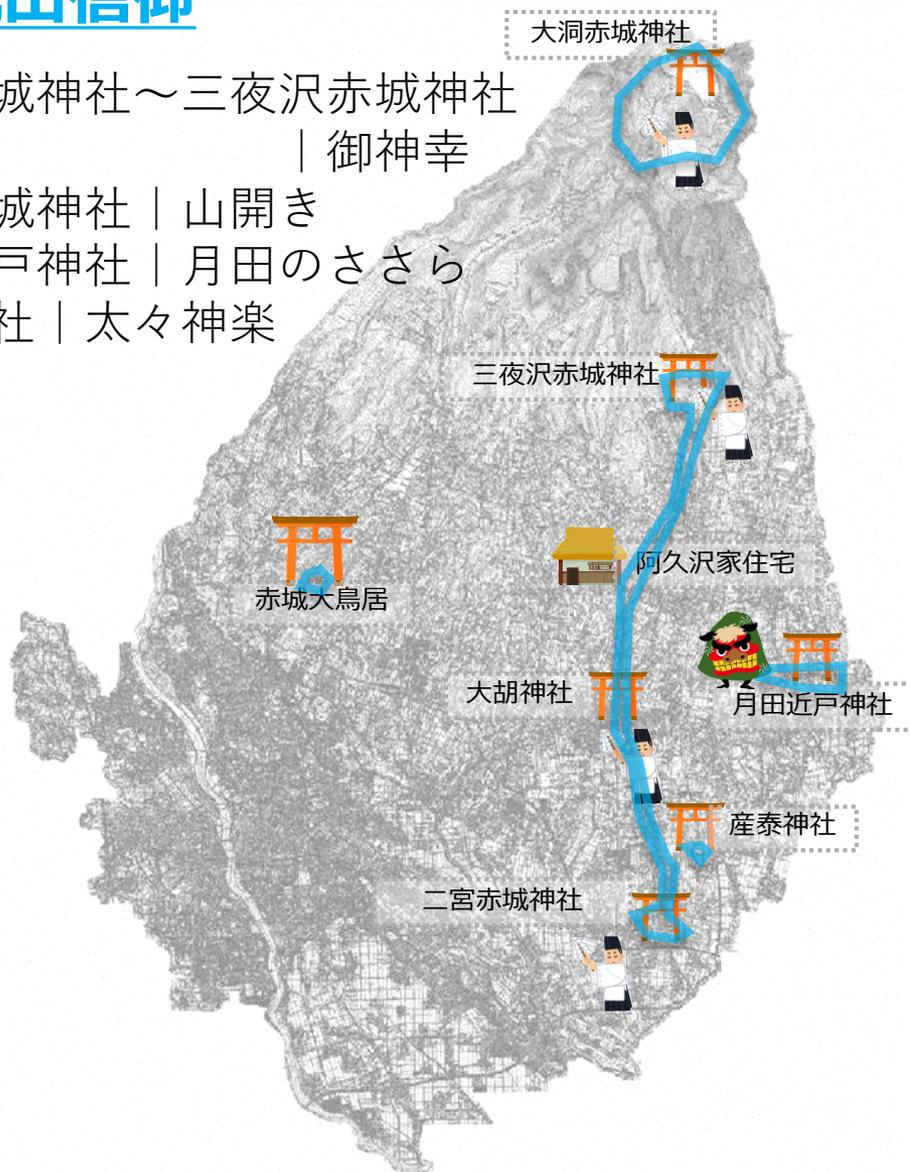
- ・ 山王廃寺跡、養蚕住宅
| かしぐね維持



Ⅲ 赤城南麓の歴史的風致

① 赤城山信仰

- ・ 二宮赤城神社～三夜沢赤城神社
| 御神幸
- ・ 大洞赤城神社 | 山開き
- ・ 月田近戸神社 | 月田のささら
- ・ 産泰神社 | 太々神楽



② 大胡暴れ獅子

- ・ 八坂神社など | 暴れ獅子



③ 剣聖「上泉伊勢守」顕彰

- ・ 西林寺など | 顕彰活動



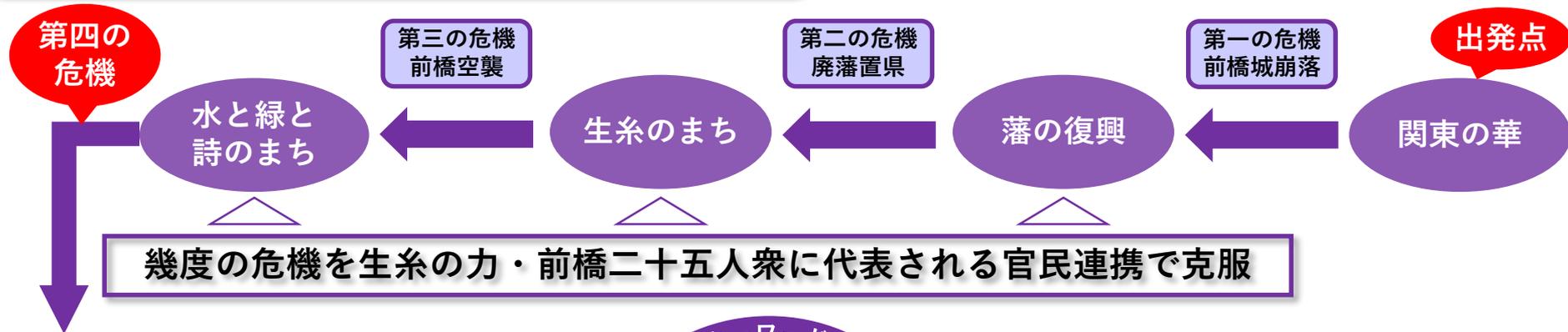
本日の説明

■ 「歴史的風致」 3つ

■ 「取組方針」と「重点区域」

■ 「事業」は何をするか

前橋の大局的な歴史とまちづくりを取り巻く近年の動き



以前と比べてどうなってしまったか？

- 製糸業全盛時は県下最大の商業地
→製糸業の衰退とともに街なかも衰退
→「生糸のまち」の歴史認識が希薄化
- 戦後群馬をけん引する県都
→社会構造の変化で都市のあり方が変化
→「県都の誇り」の意識が低下



- 前橋ビジョン「めぶく。」の登場
→まちづくりに主体的に関わる事業者の出現
→市民特性である「復興への気概」の現れ
- アーバンデザインやグリーン&リラックス
→デザインで都市を再生（復興）する視点
→特に「ローカルコンテンツ」を重要視

現在はどのような状況にあるか？

第四の危機を前に官民連携の動きが加速 = 令和時代の前橋二十五人衆？





歴史まちづくりのコンセプト

歴史上の「第四の危機」を乗り越え、質感の高い都市を実現するため、

関東の華・生糸のまちの**歴史を継承し、**

官民が連携して「前橋の誇り」を取り戻す



第七次総合計画の将来都市像との関係

【第七次総合計画の将来都市像】

**新しい価値
の創造都市**



【歴まちの事業コンセプト】

歴史
継承

官民
連携

前橋の
誇り

歴史まちづくりにおける将来都市像とは？

街なかの現状から考える

現在の街なか

「時代背景の異なる街並み」
「歴史的なもの」「都市的なもの」

これらが一定の調和をもって**混在・共存**

関東の華の
城下町



県都
生糸のまち



戦後復興
町村合併



都市的環境
芸術文化



ヒストリー・クロス・アーバン

History × Urban = 歴史都市まえばし

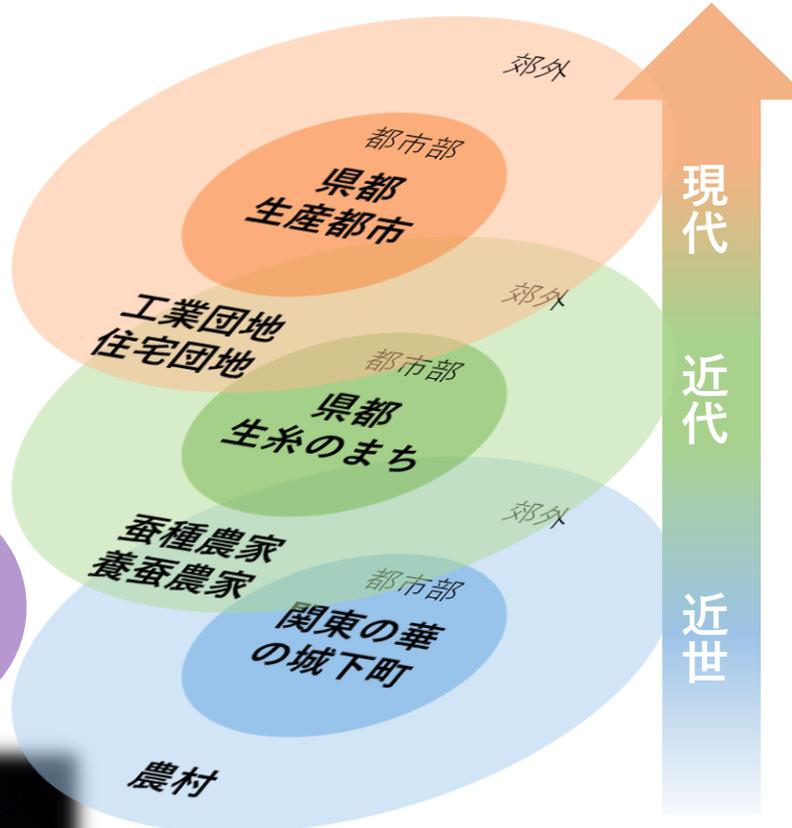
歴史的なものと都市的（現代的）なものの共存

第1期歴史文化遺産活用委員会提言

歴史都市まえばし

前橋を象徴する歴史空間の創造

都市全体の構造から考える



- 「都」と「地方」の構図と同様に、市域内の都市部と郊外部も相互に支えあう中で交流が生まれ、それぞれの文化が育まれてきた
- 地域の歴史やこれまでの歩みを紐解き、今あるものや残されているものを新たな時代に見合う形で磨きあげ、都市全体の質感を高める

第2期歴史文化遺産活用委員会提言
「一つの前橋」としての質感＝歴史回廊の構築
 歴史空間の横軸連携

「一つの前橋」としての質感＝歴史回廊の構築

歴史まちづくりにおける将来都市像

街なかの現状から見える

History × Urban

+

都市全体の構造から見える

「一つの前橋」としての質感



歴史まちづくりの将来都市像

温故創**新 =**

古きをたずねて新しきを創る
過去を共有して未来を創る

第1期計画における重点区域について

重点区域とは、歴史まちづくりを重点的に進める場所

歴まち関連事業を主に実施するところ

前橋の大局的な歴史を象徴し、
最も活性化が望まれているエリア

① うまや ばし 厩橋地区（**街なか**）

第1期計画における重点区域について

重点区域とは、歴史まちづくりを重点的に進める場所

歴まち関連事業を主に実施するところ

今も歴史的資源が多く残存し、
駅周辺整備による都市機能の向上が
期待されるエリア

② **総社**及び**総社山王**地区

この2地区で10年間事業を進める

歴史まちづくりの三指針

歴史まちづくりの三指針



「温故創新」を具現化するための基本的な方向性・指針

**調べる・魅せる・保全する**

未指定歴史的資源の調査、景観阻害物件への対応、文化財としての価値づけ
未来政策と連携したA R・V Rの活用 等

**揃える・整える**

景観条例に基づく規制・誘導措置 等

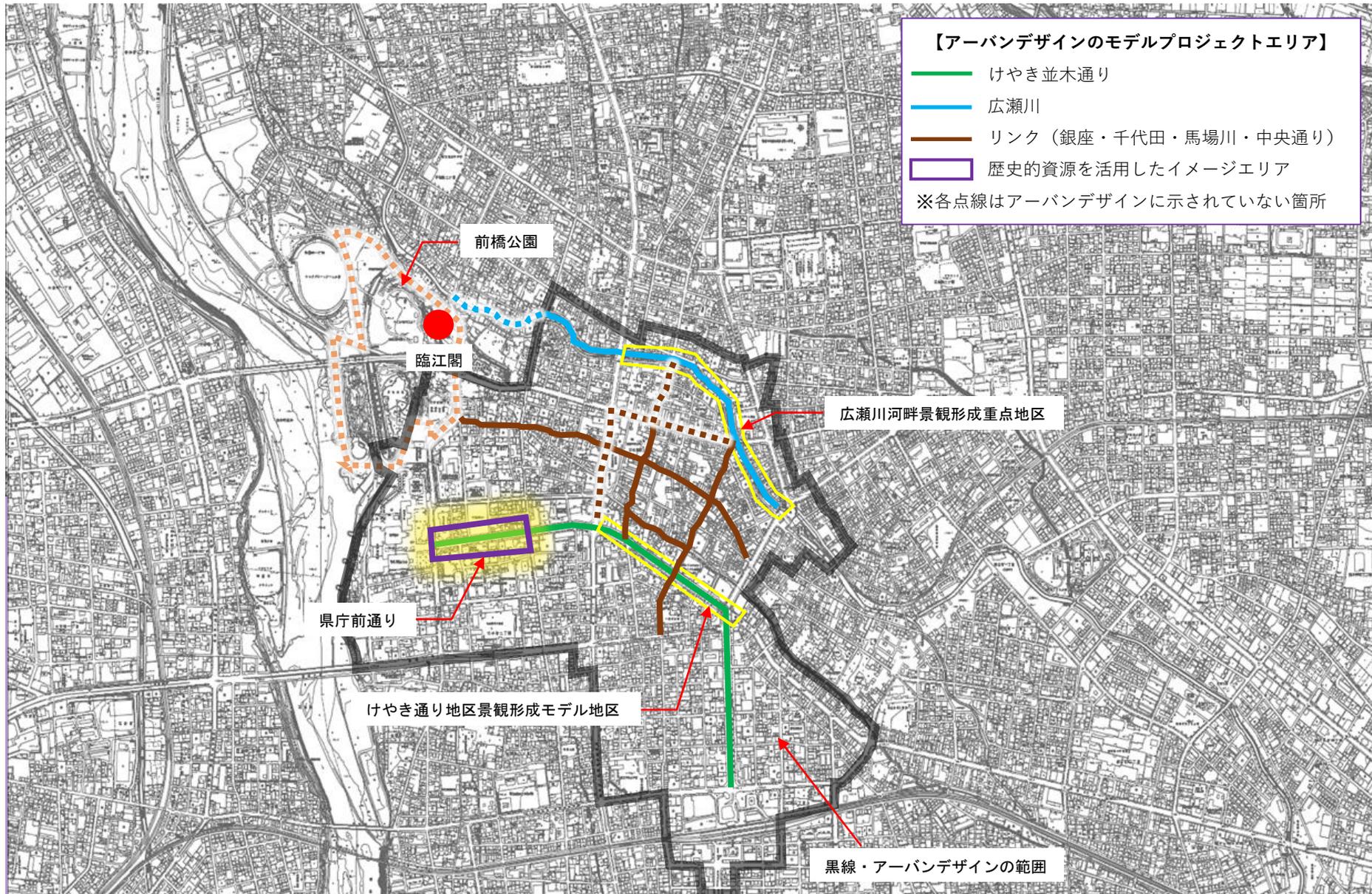
**高める・創出する**

前橋の歴史性を象徴する施設の復元、民間投資意欲を増進する街なみ整備 等

本日の説明

- 「歴史的風致」 3つ
- 「取組方針」と「重点区域」
- 「事業」は何をするか

事業実施箇所の検討



歴史都市 まえばし

未来イメージ図



※イラストはイメージです。※縮尺は実際とは異なります。

事業実施箇所の検討

